

# Jリーグの人気とレベルをあげるために

## サッカークラブ・自治体・企業の東南アジア戦略の視点から

環境情報学部 3年

入江 巴常

### 1. 問題提起と研究概要

近年 Jリーグは観客減少に直面し、なおかつレベルの低下が叫ばれている。様々な要因が考えられるがひとつとして日本代表でも主力の選手は海外のクラブでプレーしており、これによって人気・レベルとも下がっているといわれているのだ。この状況を打開しようとサッカー協会・各クラブ・スポンサー企業などが行っている取り組みを見てそれがどのような効果を生み、機能しているのかを見ていきたい。そして Jリーグがどうすれば欧州リーグを除いた中で確固たる地位を築けるのか考えていきたい。

### 2. 今学期の展望

先学期 Jリーグの東南アジア戦略に注目しコンサドーレ札幌のレコンビンというベトナム人選手を見てきたのだが、退団してしまった。そのため同じような取り組みとして今度はヴァンフォーレ甲府がインドネシア人選手を獲得したのでその推移を見ていこうと考えたが、レベルがまったく通用していないようで1試合も出場がない。なので、今期は最近話題をにぎわしているフォルランやデルピエロといった全盛期を少し過ぎた超有名選手たちに、なぜまた Jリーグが注目され始めたのかを見ていきたい。Jリーグが始まった当初というのはジーコやリトバルスキーなど超有名選手がきていたのでそのときの状況と比較して考えていく。またヴァンフォーレ甲府のインドネシア人プレイヤーが出場しだしたら随時追っていく。

### 3. 研究手法

Jリーグや各チームの公式サイト、また新聞や雑誌などのメディアを見ていく。